

経営者、経営幹部の皆様
是非ご検討下さい。



国際－14－06

平成26年11月27日
一般社団法人 日本フードサービス協会
会長 櫻田 厚
同 国際交流委員会 委員長
副会長 栗田 貴也

ASAEAN 消費市場の中心地

着実な経済成長を遂げるベトナムと世界から注目を集めるミャンマー！

成長の本質を探る！

JF ホーチミン・ミャンマー研修ツアー

平成27年2月1日～7日（5泊7日）

この度、一般社団法人 日本フードサービス協会では、ホーチミン・ミャンマーの外食市場を探るツアーを実施致します。

ベトナム、ミャンマーを含む ASEAN 10 カ国は 2015 年迄に経済共同体の統合を目指す等、海外からの投資も盛んに行われています。GDP は平均年率6%以上に達し、統合後は人口が約6億人に達すること等が予想される等、アジア最大級の経済圏への期待が寄せられています。

所得水準は未だ発展途上にあるものの、外食、加工食品に代表される食品産業の需要はさらに高まることが予想され、ASEAN 地域への進出機会を探るには絶好の機会かと思われます。

今後のビジネスチャンスに繋げるためにも JF 研修ツアーを是非ご活用ください。

東・東南アジア諸国への出店実績を持つ会員企業はもとより、現在、進出を検討されている会員企業にとりまして、タイムリーかつ多くのヒントが得られる内容が満載です。

ご多用中とは存じますが、当研修ツアーへのご参加をお待ち申し上げます。



一般社団法人 日本フードサービス協会

◇ JFホーチミン・ミャンマー研修ツアーの目的・内容

- ① 2015年に経済統合が予定され、アジア最大級の巨大市場に生まれ変わるASEAN地域の中心一ベトナム・ミャンマーの外食市場の視察を通して、その経済成長や内需、潜在力、将来性の高さを実感することによって、今後のビジネスチャンスに繋がります。
- ② 現在、JFではミャンマー政府に直結したミャンマーレストラン協会（略称：MRA）の日本研修を数回にわたりコーディネートするなど、相互に信頼関係を築いています。ミャンマー滞在中は、現地外食企業及び政府関係者と情報交換を行う機会が提供される予定です。
- ③ 日系及び現地系のフードサービス店舗（ファーストフード、ファミリーレストラン、日本食レストラン等々）の訪問を行い、経営者・経営幹部等との意見交換を行います。
- ④ NPO法人 日本食レストラン海外普及推進機構（JRO）と連携した国際シンポジウムの同時開催に伴い、バンコク、北京、上海、香港など、各アジア支部関係者とのミーティングの機会を設け、今後のアジア進出に繋がるヒントを得られます。
- ⑤ 研修では、出店実績のあるJF会員企業、デベロッパー等から、現地での人材育成の方法や物件等に関する最新情報を得ると共に、参加者の店舗視察等のサポートを頂きます。
- ⑥ 経験豊かな現地の食品産業等から、食材調達や物流方法、メニュー開発におけるポイント等、マーチャンダイジング全般に関するアドバイスを頂きます。
- ⑦ 現地人材の教育方法、生活習慣や宗教感を学びます。

◇ 着実な経済成長を遂げているベトナム

中国での労働力不足、賃金上昇のリスクヘッジにするため、「チャイナ・プラスワン戦略」として日系企業の進出が増加しているベトナム。今回はベトナム最大の都市となるホーチミンを視察します。

ベトナムは10代～20代の人口比率が最も高く、豊富で廉価な労働力を背景に市場の将来性が有望視されております。近年では日本の外食企業も増え、市内には「寿司」「ラーメン」「焼き鳥」などの専門店が数多く並び、日本食ブームが巻き起こっております。

◇ ラストフロンティアとして世界から注目を集めるミャンマー

現在のティン・セイン政権が改革開放政策にかじを切り替えたことがきっかけとなり、民主化が進み、急速に経済成長をしているミャンマー。日本の1.8倍と広大で肥沃な国土を持ち、豊富な天然資源にも恵まれているミャンマーでは、製造業を中心に日系企業の進出が増え、外食店舗も急速に増えております。インフラ整備に加え、外国資本誘致や輸出入ライセンス取得手続きの簡素化等、課題はあるものの貿易や物流環境は改善されつつあり、輸出入にともなう物流需要は今後、増加が予測されています。

◆研修スケジュール(予定)

日 付	発 着 / 滞 在 地	交通機関	主な視察先／内容（予定）
2月1日 (日)	集合 東京（成田）発 （VN301便） ホーチミン 着	7：30 9：30 14：40	◇成田国際空港第1ターミナル北ウィング集合 ◆成田国際空港発 ※ 機内6時間50分（ベトナム時差-2h/日本） ◆タンソンニャット国際空港着 ◇ホーチミン現地セミナー／参加者懇談会 ◇市内大型商業施設視察 ・市内ショッピングモール（イオンモール 他） ・現地レストラン繁盛店等の訪問／丸亀製麺 等
2月2日 (月)	ホーチミン	バ ス	◇日系食品加工メーカー訪問 ◇市内大型商業施設視察 ・市内ショッピングモール視察 ・SCデベロッパーとの情報交換会 等
2月3日 (火)	ホーチミン 発 （VN943便） ヤンゴン 着	11：45 13：25	◆タンソンニャット国際空港発 ※ 機内2時間10分（ミャンマー時差-0.5h/ベトナム） ◆ヤンゴン国際空港着 ◇ショッピングセンター、市内外食店舗等視察
2月4日 (水)	ヤンゴン	バ ス	◇ミャンマー型セントラルキッチン等訪問 ◇ミャンマーレストラン協会本部訪問・店舗視察 ◇ミャンマーレストラン協会関係者との交流会
2月5日 (木)	ヤンゴン	バ ス	◇ローカル市場視察 ◇JRO 国際シンポジウム・JRO 支部情報交換会の開催 ・日本企業及び現地企業とのパネルディスカッション ◇現地日系企業及びローカル食品メーカーとの食材・食品 商談会と試食検討会
2月6日 (金)	ヤンゴン ヤンゴン 発 （VN956便） ハノイ 着	バ ス 19：10 21：25	◇現地富裕層等の家庭訪問 ◇ショッピングセンター等訪問 ◇SC流通業等自由視察 他 ◆ヤンゴン国際空港発 ※ 機内1時間45分（ベトナム時差+0.5h/ミャンマー） ◆ノイバイ国際空港着
2月7日 (土)	ハノイ 発 （VN310便） 東京（成田）着	00：20 7：00	◆ノイバイ国際空港発 ※ 機内4時間40分（日本時差+2h/ベトナム） ◆成田国際空港着／到着後、随時解散

◆募集要項及び旅行条件

■対象 外食企業及び関連企業の経営者及び経営幹部、市場開発担当者 等

■参加費用 248,000 円（**成田国際空港発着**）

☆シングルルームご希望の場合、追加料金： 57,000 円（予定）

☆ビジネスクラスご希望の場合、追加料金： 177,000 円（予定）

☆残存有効期間6ヶ月以上および連続した査証欄空白ページが3ページ以上のパスポートが必要です。

☆現地集合およびアジア等ご出張先からの合流も歓迎いたします。その際も別途料金を算出致します。

■募集人数 20名程度 ※申込締切日 平成27年1月14日(水)

1)参加費用に含まれているもの

- ・航空運賃：全行程エコノミークラス運賃（ベトナム航空）・研修中のバス料金
- ・宿泊費：2名1室でご案内しております。
- ・航空手荷物料金：お一人様につき、受託手荷物2個まで。
※ 各個のサイズは縦・横・高さの合計が203cm以内で、重さは20kgまで。
- ・税金等：空港税、空港施設使用料、燃油サーチャージ、ミャンマービザ取得費（取得代行手数料含む）
※ ミャンマーでは、観光ビザ取得の際に名刺が必要です。ので、申込書に必ずご同封ください。
- ・セミナー料金：期間中の各種セミナー室料、通訳料等含みます。

2)参加費用に含まれていないもの

- ・個人的な諸経費～日本国内及び自由時間等の交通費、シングルルーム料金、ビジネスクラス料金、食事料金（昼・夕）、電話料金、クリーニング代、お土産品 等
- ・持込品にかかる関税、超過航空手荷物料金等／・参加者の傷害疾病に関する医療費
- ・旅行傷害保険料（渡航前までにご加入されることを強くお勧め致します。）

3)その他の旅行条件

この旅行は参加人員が基準人員（最小催行人員15名）に満たなかった場合には、当旅行の実施をとりやめる場合がございますが、その際は全額ご返還致します。

取消料は、下記の通りでございます。

旅行開始の30日前～21日前 参加費用の 20% / 旅行開始の20日前～3日前 参加費用の 30%
前々日～当日 参加費用の 50% / 旅行開始後 参加費用の 100%

なお、本旅行費用は、2014年10月31日現在の各利用運輸機関、ホテル等の宿泊期間の運賃、料金並びに、参加者20名を基準としたものです。

◇申し込み方法 別紙参加申込書に必要事項を記入し、別途必要書類を同封の上、お申し込み下さい。

◇参加費用のお支払い 平成27年1月16日(金)までに、全額を次の振込先へお振り込み下さい。

※ 個人名義でお振込の際は、貴社名をご明示くださいますようお願い申し上げます。

銀行名：りそな銀行芝支店 普通預金 1105390 口座名：JF海外研修旅行

企画・お申込み先

一般社団法人 日本フードサービス協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-29-6
浜松町セントラルビル10階

TEL 03(5403)1060 FAX 03(5403)1070

担当：和田・田村

旅行主催

日本通運株式会社 東京旅行支店

〒105-0004 東京都港区新橋1-5-2
日通旅行ビル6階

TEL 03(3573)8519 FAX 03(3573)8531

担当：稲田・横田

JFホーチン・ミャンマー研修ツアー参加申込書

一般社団法人日本フードサービス協会 宛
FAX 03-5403-1070

201 年 月 日

ふりがな			年令	才	生年日	19 年 月 日
参加者氏名						
英文氏名						男・女
勤務先 現在ご勤務中の事業所名 及び住所をお書き下さい。	会社名			役職名		
	(同英文会社名)			(同英文役職名)		
	〒 -					
	電話			FAX		
	メールアドレス (必ずご記入ください。)					
自宅住所	〒 -					
	電話			FAX		
	携帯電話	海外での使用 (できる・できない) ※どちらかを○で囲んでください。				
渡航中の連絡先	氏名			続柄		
	住所 (現住所と違う場合のみ、ご記載ください。)			電話	- -	
旅券	旅券番号			発行日 (5年・10年 有効)		
	※ パスポートの残存有効期間が6ヶ月以上、および連続した査証欄空白ページが3ページ以上必要です。 事前にパスポートをご確認ください。					
海外研修・セミナー 受講経験及び渡航経験	主催団体名	研修・セミナー名	渡航年月	行先 (国名及び都市名)		
シングルルーム希望	ホテルでのシングルルームを (希望する ・ 希望しない) ※別途、57,000 円の追加料金が掛かります。					
複数で参加され且つ相部屋をご希望の方は相手方のお名前をご記入ください。 ご記入のない場合は事務局にて、調整させていただきます。						
旅行代理店を通じて、空港までの 国内航空券の手配をご希望される 場合は、ご記入ください。	希望区間 (片道 ・ 往復) ~ ※時間及び料金等については、後日代理店よりご連絡させていただきます。					
JF事務局・旅行代理店 からの連絡先について	本人(会社・携帯) ・ ご担当者		JF事務局・旅行代理店 からの郵便物の送付先		本人(会社・自宅) ・ ご担当者	
ご担当者連絡先	氏名	役職名			E-mail:	
	電話			FAX		
	住所 (案内物の送付先が参加者勤務先と異なる場合のみご記入下さい) 〒 -					

※下記書類を必ず同封してください。

- ★顔写真 (配布名簿に使用します)
※データで提出頂いても結構です。
- ★お名刺 (VISA 取得のため必須)
- ★パスポートのコピー
(申請中の方は後日送付してください。)
- ※ビジネスクラスをご希望の場合は、
別途事務局までご相談ください。

参加者の顔写真
(背景無地) を
縦 4 cm × 横 3.5 cm
の大きさで のり付
けせずに、クリップ
でとめて下さい。

★申込者 (御社代表者名または申込責任者名)



★お振込先 = リソナ銀行 芝支店 普通預金 1105390
口座名 JF 海外研修旅行

ご参加費 円は、 月 日に振込予定

★請求書の送付を (希望する ・ 希望しない)